

○鳥取県北栄町の概要

面積57km²、人口約15,000人

○青山剛昌ふるさと館の概要

実施主体:北栄町

入館者数:平成30年度約16万人(うち外国人約1万7千人)

敷地面積:5,289m²、延床面積:891.27m²(鉄骨コンクリート2階建)

開館日:平成19年3月18日(北栄町大栄歴史文化学習館を全面リニューアル)

総入館者数の推移



青山剛昌ふるさと館の概要② 観光客を惹きつける取組

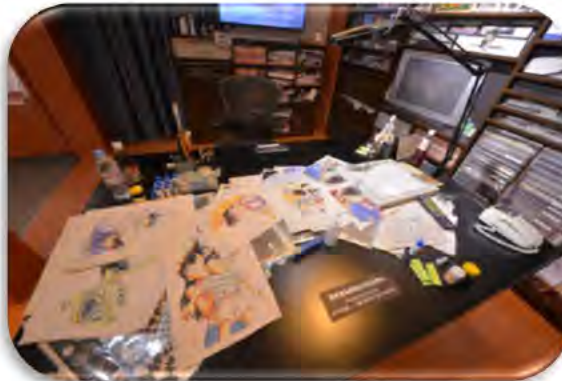
- 平成9年に町商工会から「コナンの里づくり実現化構想」が提言される。
- 町全体で「名探偵コナンに会えるまち」づくりに取り組み、国内外の観光客から人気を集める。
- 令和元年度は、総入館者数20万人を超え、累計入館者数は120万人を突破。

魅力的な文化資源



- ・青山先生の直筆の原画
- ・青山先生の学生時代の作品

見せる工夫



- ・青山先生の仕事部屋を再現
- ・作品中のトリック等の再現
- ・館内、コナン通りでの多言語表記

まんがを活かしたまちづくり



- ・住民票など、証明用紙にコナン君の透かしを採用
- ・公用車にPRステッカーを貼付
- ・マラソン大会にコナン君のデザインTシャツを採用

情報発信

- ・館Twitterのフォロワー数…約4万人
- ・劇場版にあわせ、映画館でCM放映

県・町の取組

- ・県全体・町全体で、**オンリーワンの魅力**を活かしたまちづくりに取り組み、集客を伸ばした。

著作権への知識の積み上げ、原作者・版權元との信頼関係の構築⇒**作品の世界観を守る**

青山剛昌ふるさと館の概要③ 地域を巻き込んだ取組

町全体を周遊してもらう工夫



コナン通り沿いの出会いの広場では、北栄町商工会が集合店舗のコナンの家米花商店街を運営。また北栄町観光協会が4～10月に巨大迷路を開催。



JR由良駅を「コナン駅」と愛称化。
コナンの装飾がなされた「コナン列車」も運行。



コナン駅(JR由良駅)から青山剛昌ふるさと館まで約1.4kmを「コナン通り」として町おこし



コナン通りを楽しく周遊していただくため
オブジェ等を配置

今後の課題と解決策について

課題

①青山剛昌ふるさと館

<ハード面>

- ・施設の手狭感
- ・収蔵スペースの不足、保存設備の充実
- ・館内設備の充実(キッズスペース、ワークショップスペースなど)
- ・バリアフリー対応(エレベーター、手すり、スロープなど)

<ソフト面>

- ・原画保存、デジタルアーカイブ化などのノウハウ不足

②交通アクセス

- ・空港連絡バスのほか、駅とふるさと館を結ぶ路線バスを拡充したが、一層の充実が必要

③外国人観光客

- ・多言語整備(ピクトグラム化含む)、Wi-Fi整備、宗教対応

解決策

- ・施設の移転・拡充にかかる支援
(対オーバーツーリズム、希少な原画保存のための施設整備や人材配置・育成)

- ・交通アクセスの整備
(空港便・鉄道便・車線数の拡大、二次交通の整備)

- ・外国人観光客への情報発信
(特に災害時における対応)

